



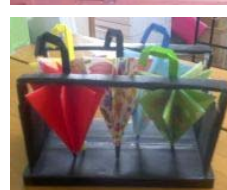
「ささえ～る」

※『ささえ～る』とは、「佐々木」・「ささえる」・「エールを送る」の意味を込めた造語です。

作業療法
作品展



【アンダンテ園芸クラブ】



作：増田
第2病棟職員



院長

菊野恒明

ささえ～るに原稿を書く時が来た。しかしなかなか筆が進まない。とりあえず携帯に向かって、少しずつ文字を埋めてみている。

ところで私は短歌を趣味にしている。東京にある未来短歌会という結社に所属していて、毎月の月刊誌に作品を投稿している。いま歌ができない。困っている。昔はそうでなかった。比較的すらすら出来た。歌集を三冊も出版しているくらいだ。ちなみに歌集の名は、『北の医局』、『医局の庭』、『望郷の医局』といったもので医局三部作と言っている。いずれもなかなか好評で、どこで買えるのか、町の本屋で注文できるのか、と聞かれる。これは北冬舎という出版社に直接申し込んでもらわなければならない。歌集三冊で燃え尽きたのだろうか。いまは全く歌が出来なくなった。それにともない文章が書けなくなった。と、愚痴っているうちにどうやら依頼の字数に届きそうだ。駄文にお付き合い頂いた皆さま方のご健勝を祈り、筆を置く。

入院中の外泊から病院へ戻る道にて、我が子をカブける言葉もなく、俺(わび)しい思いに代えて

日長とき 移ろう夕べ 仰がむや

吾子よせはしき 足ゆるべてぞ

家族S・T

病棟 対 抗 ? お や つ 作 り

6月より作業療法では、プログラムの一環として病棟毎におやつ作りを行っています。久しぶりのおやつ作りとあって、普段と比べると多くの患者さんの参加があり、行う前から「何を作るの?」と楽しみにしている声が聞かれました。アルバイトでお菓子作りをしたことがあると昔を懐かしみながら作業する方や、最初は「何もできないから…」と消極的だった人も、いざおやつ作りを開始すると、興味津々で自ら進んで手伝う等、普段は見られない患者さんの姿が見られました。完成したおやつは、皆が口々に「おいしい」と満足げな様子で、中には早くも次回を希望し、「またしたい!」と、メニューリクエストをしてくる患者さんもおられるくらいに好評でした。

作業療法士 坂本



附属施設 障害者福祉サービス事業所

フィールド・ラベンダーの役割

フィールド・ラベンダーでは大きく四つに分けた支援を行っています。

一つ目が就労支援事業です。一般就労を目指す方は「就労移行」を利用されています。日中の活動場所としてや体力づくり等を目的にされる方は「就労継続支援B型」を利用されています。

二つ目に地域活動支援センターがあります。施設内外で行事や活動を行ったり、お弁当サービスや入浴サービスを行っています。

三つ目が相談支援事業です。生活に関する様々な相談をお受けしたり、障害福祉サービスを利用する為に必要なサービス等利用計画を作成しています。

最後の四つ目がグループホームです。病院を退院してすぐに自宅に帰る事に不安を感じる方や、今後はアパート等での単身生活を過ごすためにその準備をしたい方などが対象になっております。部屋数は男女6人ずつで12部屋あります。

興味をもたれた方は是非、見学にきていただければスタッフが対応させていただきます。

施設長代行 伊藤

就労支援事業



支援センター



グループホーム



新入職員インタビュー

①佐々木病院の印象は？②趣味は？
③今後の抱負を一言で！

「絶えな
めること
すが、患
うように

くれて、すぐに仕事
しています。良くも
いていてタイムスリ
！
うに頑張ります。



し患者さ
護師を目

いろ



を多く作り、思い
します。

明るくて
ました。



んが、早く
看護が提供

それぞれの役割、
るべきことを即座
パワーと創造性を
ために毎日頑張っ
)
して、誇りを持っ

新入職員研修を終えて

精神科単科の病院に初めて就職して、第一印象は一日の流れがとてもゆっくりとゆったりと流れていると感じました。

今の時代はストレス社会であるため、精神的ストレスは誰もが必ずかかえる問題であると思います。しかし、それでも社会で生活しています。

精神科で入院している患者さんは何が違うのか疑問でしたが、研修で言われていた「生きづらさ」が大きく違うことを理解しました。患者さんたちは意図的にやっているわけではないのに周りに理解されないことはとてもつらいと思います。

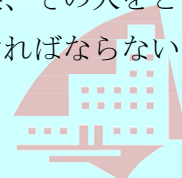
そこから生じる不安や緊張を軽減し、自分の問題を自ら解決できるようにその人の自立を助けられるように支援することが、私たちの役割であると理解しました。

心のケアは難しいと思い込んでいましたが、受容

する態度や傾聴する姿勢、否定をせず共感する気持ちで接することは、どんな看護現場でも必須だと思います。今までやってきたことを何ら変わりなく、いつも通りの接し方で良いことがわかりました。また、共感するためには、患者さんに起こっている疾病からの症状を理解することが必要だと思います。

そして、治療のための薬剤や精神科リハビリテーションの効果を把握し、関わっていきたくと思います。

まだまだ、社会では精神科疾病の患者さんの受け入れ態勢は厳しく「生きづらい」環境であると思いますが、誰もがなり得る病気であることを理解し、社会での居場所を病院、地域、家族、その人を取り巻く人達が協力して作っていかねばならないと感じました。



アンダンテ・プログラム 『生活クラブ』について

精神障害当事者の方が「退院後の地域生活をより快適に営む」目的で2017年5月よりデイケア内で開始したのが本プログラムです。

入院生活と地域生活の大きな違いとして「自分の日常行動を自分の意思で決定する」点が挙げられるように思います。ただ精神障害当事者の方の場合、①比較的若い時期に発症し治療中心の青年期を送る必要から“生活スキルの習得機会が少なく”、②“物事の優先順位をつけにくい”特性を持つ方が多いといえましょう。結果、そのことが「自分がどうしたいか」を決めにくい状況を生み出し、「片付けがうまくできない」「いやなことでも断れない」等の困難という形に姿を変え、地域生活の阻害要因となっているのも事実ではないでしょうか。

これまで「畳・床掃除のやり方」「うまく断るには」「災害時どうする」「アパートを借りる時」「障害者手帳について」等の内容で実施してきた本プログラムがどれだけ当事者の皆様の地域生活に役立っているか…は心許ない限りではありませんが、地域生活に必要な生活スキル自体が何かを問い直す意味も含め、共に考え・一緒に身につけていくための場にしていきたいと考えております。皆様のご意見をお待ちしております。

アンダンテ 中塩



佐々木病院アンダンテより 「生活教室のお知らせ」

このたび佐々木病院アンダンテでは、以下の日程で「**富山障害者就業・生活支援センター**」より講師の方をお招きし、講演会を行うこととなりました。

9/18 (火) 10:00~11:30
「**障害者就業・生活支援センターの取り組みについて**」

～**就労と地域生活**～

会場：佐々木病院アンダンテ

講師：石田 憲一朗氏 (富山障害者就業・生活支援センター)

本講演では、

- ① 精神障害当事者が、職業生活・地域生活を送るうえで **必要なスキル** についてお話頂くと同時に、
- ② 障害当事者の職業生活・地域生活をサポートしてくれる **障害者就業・生活支援センター** で受けられるサービスについても説明頂く予定です。

アンダンテメンバー以外の方のご参加も可能です。参加ご希望の方は

076-423-2114

までご一報ください (アンダンテ直通:担当 駒田・中塩)



食べたくても食べられない… 食物アレルギーを考える

食物アレルギーとは、「食物により引き起こされる免疫学的機序を介して生体にとって不利益な症状が起こる現象」と定義されています。現在我が国は、食物アレルギー人口がおよそ150万人いると言われています。

アレルギーの原因となる食品として、鶏卵・牛乳・小麦・ピーナッツ・果物・甲殻類・魚卵等があります。

アレルギー症状としては、じんま疹やかゆみ、嘔吐・下痢・腹痛、血液低下・意識障害・失禁、時にはアナフィラキシーショックを起こし、生命の危機

的状況に陥る場合があります。

病院や学校、福祉施設等の給食において、アレルギーの対応は当然行っており、施設によってはアレルギー対応専従のスタッフ、あるいは調理スペースを設けています。先に申し上げた、重篤な症状も起こり得るので、栄養士・調理師は非常に気を遣う部分です。

先日、「好き嫌いが何も無く、何でも食べます」という方にお会いしました。私は、「すごく幸せなことですね」とお話ししていました。管理栄養士をしていると、食べたくても食べられない方と多く接します。その時に改めて、食べられることの尊さを感じています。

管理栄養士 今泉



編集後記

フィールド・ラベンダーの玄関にラベンダーの鉢植えを置くことにしました。そこで、花苗を見に行くも、春先より花の種類も数も少なく、どうやら出遅れてしまったようです。とりあえず、ラベンダーと寄せ植えにと2種類の花を買いました。植え替えの時に花の札を見ると、ピンクの花がシャルウィダンス、黄色がサンバというキラキラネームがついていました。日に日に両者が華やかになり肝心のラベンダーの花はすぐに今期終了してしまいました。ラベンダーの花言葉は、「沈黙 あなたを待っています」など。このけなげな花を上手く冬越えさせ、来年こそは玄関の主役にしたいと思います。

広報委員 入江



重仁 佐々木病院

山県富山市大町1番地

1

2

.or.jp/

